

学校教育目標 やさしく、たくましい子どもの育成（やさしく、たくましく）

# よく学ぶ よく遊ぶ 明るくあいさつ 黙って掃除

“子ども、保護者、地域、教職員、みんなが誇りに思い、楽しいと思える学校づくり”

〒801-0833 門司区清滝5-3-21 TEL 331-1708 FAX 331-1709 校長 三栗谷 進



日中は熱いと感じる日もあり、体調を崩しやすい季節です。運動会の練習が本格的に始まります。

お子さまの健康管理、食事、睡眠など、どうぞご家庭でも気を付けてください。

## 本校の教育活動の重点

4月23日の授業参観・学級懇談会、PTA総会には、お忙しい中、多数の皆様のご参加をいただき、ありがとうございました。

さて、PTA総会の時のあいさつで、「本校では以下の2点に重点的に取り組んで参ります。1点目は『明るく元気なあいさつをする。』2点目は『授業改善や学習規律の定着に取り組む。』です。」というお話をしました。そのことについて、北九州市や教育委員会の方針等にも触れながら、詳しくお伝えしたいと思います。

北九州市は、平成20年に環境モデル都市の政府選定を受け、北九州市環境モデル都市行動計画を策定し、積極的に取り組んでいます。学校教育の中にも環境教育の取組が導入されています。全小・中学校には、太陽光パネルが設置されています。また、全小学校4年生で、環境体験科として、総合的な学習の時間の10時間程度を使って、市内の施設や自然環境の見学等をしています。さらに小学校5年生以上の子どもを対象にした、環境キャラバン事業が夏休み中に実施されています。



平成20年12月には、新たなまちづくりの指針として『元気発進！北九州』プラン」が策定されました。

教育委員会は平成21年10月に、『元気発進！北九州』プラン」の子ども教育にかかわる

部門別計画として、「子どもの未来をひらく教育プラン」を策定しました。この中で、『あいさつ』『読書』『元気（食育・体育）』『スクールヘルパー』の4点に重点を置いて、「教育日本一を実感できる環境づくり」に向けての取組を展開しています。このプランは、10年間の教育の取組についての計画です。今年度は折り返しとなり、今までの取組の検証と共に後半5年間の取組について議論をしていく予定です。

今年度は特に、小中一貫連携教育（義務教育期間の9年間で子どもを育てよう。小中学校が連携を深めて子どもを育てようetc.）や土曜日授業の拡大などが大きなポイントになりそうです。

ある会議の時、教育長から「現場主義に徹して、日本一

の教育委員会を目指す！」という言葉がありました。大変頼もしく、嬉しく感じました。実現できるような施策をお願いしたいところです。

これらの方針やプランを受けて、実際に教育活動の中で実践するのは学校です。

国が定めた学習内容・授業時数等の基準である『学習指導要領』を確実に実施しながら、上記に掲げた北九州市や教育委員会の方針を受けて、教育活動を行っているのです。

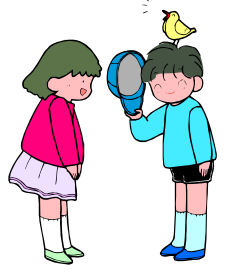
策定されたプランや施策は、大変意義ある内容で、現在の子どもや学校の状況から、必要なことばかりです。まさに理想的な姿です。しかし、これら全てを確実に実践し、着実な『チカラ』として子ども達に身に付けさせることができるでしょうか。財政面、人員配置等で大きなバックアップがあれば、それも理想だけに留まらないと思うのですが、財政的には年々厳しくなる一方です。

あれもこれもと欲張って中途半端になるより、重点を置いて取り組み、子どもも教職員も達成感や充実感、成就感等を感じられた方が、効果が大きいのではないかと考えます。

そこで、本校では前述した2つのことに重点を置いて取り組んでいくことにしたわけです。もちろん、他の取組を行わないということではありません。

小学校段階で大切にしたいことは、基礎学力の定着と友達関係（人間関係）の基盤づくりだと考えています。

『明るく元気なあいさつをする。』あいさつは、人間関係を築く第一歩です。相手を思いやり、どんな人ともよりよい関係づくりができるように、気持ちのよいあいさつに取り組んでいきます。併せて、感謝する気持ちも育てていきたいと考えています。今年度は「はい」という返事をする



『授業改善や学習規律の定着に取り組む。』学校生活の中心は授業です。授業を通して、基礎学力はもちろん、学ぶ姿勢・意欲、表現力や思考力、コミュニケーション能力等、様々なチカラを育てていきたいと思っています。

当たり前のことだと思われるかもしれませんが、「当たり前のことを当たり前前に。当たり前のことを確実に。」を基盤に置き、着実に積み重ねていきたいと思っています。

学校教育同様、家庭教育の重要性も叫ばれています。各ご家庭では、是非『基本的生活習慣の定着』に向けて、『早寝、早起き、朝ご飯』に取り組んでいただきたいと思っています。

学校と家庭が子どもに対して同じ思いをもちながら、それぞれの役割を果たし、連携を深めながら子どもを育てて参りましょう。皆様のご理解とご協力をお願いします。

## リサイクル



『元気（食育・体育）』『スクールヘルパー』の4点に重点を置いて、「教育日本一を実感できる環境づくり」に向けての取組を展開しています。このプランは、10年間の教育の取組についての計画です。今年度は折り返しとなり、今までの取組の検証と共に後半5年間の取組について議論をしていく予定です。

